

公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部 CPD 委員会活動報告  
「東洋大学生命科学部生命科学序論技術士制度説明会」

報告日：2026年6月30日

1. 活動テーマ：東洋大学生命科学部生命科学科1年生への技術士制度説明会
2. 開催日時：2026年6月16日（火）16:30～18:00
3. 開催場所：東洋大学朝霞キャンパス（〒351-0007 朝霞市岡 48-1 TEL：048-468-6311）
4. 参加者（人数）：生命科学科1年生から3年生 110名（2～4年生は希望者参加）  
生命科学部生命科学科教授 小柴 和子氏（講座教官）  
大学院生命科学科生命科学専攻教授 清水 和哉氏  
（公社）日本技術士会埼玉県支部 中田 よしみ（説明会講師）、村山 肇（随行者） 計112名
5. 配布資料（②, ③は本部HPからのダウンロード）  
レジュメ「Go to Professional Engineer！～技術士制度及び技術士試験の概要～」  
（埼玉県支部 2026年6月16日版）、事前提出、参加者へ配信

6. 実施記録

6. 1 説明会の進め方の確認 16:00～16:20

説明会開催前に小柴研究室にて小柴教授と説明会の進め方について確認を行った。

6. 2 技術士制度説明会

（1）小柴教授による開会挨拶 16:30～16:35

開会に際し、講師紹介をしていただき、国家資格として技術士の有益性について述べていただいた。

（2）技術士制度の説明と質疑応答 16:35～17:45

説明会講師：埼玉県支部科学技術振興委員会委員長 中田 よしみ（原子力・放射線）

- 1) レジュメに基づき、技術士とは、エンジニアとしてのキャリア、技術士に求められるコンピテンシー、技術士資格保有のメリット、試験制度（主に一次試験の内容）の説明、受験者層の説明について話された。一次試験合格後の修習技術者時代の実務経験では「技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）」確保の上で重要との説明がなされた。特に、技術士資格取得が技術者の客観的能力の証明となり、人生の様々なステージにおいて選択肢が増えることになると強調された（～14:05）

- 2) 質疑応答では、業務内容と技術士部門が一致しない人がいる理由はなぜか、技術士補・技術士でなくてもCPD行事等に参加できるのか、できる場合はその方法を教えてほしいなどについて質問があった。（～17:55）

（3）閉会 17:55～18:00

閉会に際し、小柴教授から参加学生に対し、出欠を兼ねて説明会に対するアンケート形式での印象・感想の回答が要請された。



以上

（記録：CPD委員会 村山 肇）